

舵輪

第145号

2016年春 発行

舵輪は(公財)伏木富山港・海王丸財団の機関誌です

平成28年度が始まりました。
皆で一致団結し、更に海王丸を盛り上げて行きましょう。



1月～3月の行事結果

御製碑

昨年10月の第35回全国豊かな海づくり大会に寄せて天皇陛下が詠まれた歌碑「御製碑」の除幕式が3月21日に海王丸パーク内で行われました。石井隆一知事、夏野元志射水市長などが御製碑を除幕し、出席者にお披露目しました。御製碑には陛下がヒラメの稚魚を富山湾へ放った情景を詠まれた「深海の水もて育てしひらめの稚魚 人らと放つ富山の海に」を記してあります



☆パワーバレンタインウィーク in2016☆



2月6日から14日の間、パワーバレンタインウィーク2016を開催しました。期間中は多くのカップルが乗船し、愛を深めていました♥ また、14日は船長公室にて、斎藤船長から特別乗船券を受け取ることもでき大変好評でした。また、併せて夜間公開、弾き語りライブも行われ大変盛り上がりしました。

海王丸進水記念日(誕生日)

皆様ご存知のように2月14日は海王丸86歳の誕生日でした。この日は満船飾で海王丸がド

レスアップする予定でしたが・・・天候不良により実施することができませんでした(泣)

さて、海王丸は1930年に進水(誕生)したわけですが、1930年とはどのような時代だったのでしょうか。



国内：世界大恐慌の波が日本に押し寄せ、日本経済は昭和恐慌という戦前で最も深刻な状況にあったそうです。そんな中、1月には姉妹船である「日本丸」(現在、横浜に係留)、2月に海王丸と日本を代表する大型帆船2隻が建造されました。この2隻の建造にかかった費用は1隻当たり91万円。当時の資料を見ると昭和初期の大卒初任給が1500円程度だったそうで、この2隻にはかなりの予算が掛けられていることが分かります。また、4月には銀座三越が開業や10月には特急燕が運転を開始し、東京～神戸間が8時間55分で行けるようになった時代でした。(現在は新幹線で3時間20分程度)

船体整備

2月14日から3月31日までを船体整備期間として様々な工事を行いました。どの工事も毎年行っているものですが、新しくボランティアになられた方はご存知ないと思うので、簡単に紹介します。

① 電路工事

船内の電路工事(電気配線更新工事)を行いました。今年には土官サロンを中心に工事を行いました。取り外した電線の中には30年前の電線なども含まれていました。この工事は来年度も予定をされています。次は土官エントランス付近の予定です。



② ピッチ流し工事

木甲板の木と木の間にある黒いものをご覧になられたことがあると思いますが、この工事は甲板の水密を保つために行う重要なものです。先ず、木と木の間にホーコンと呼ばれる繊維を打ち込

み真っ黒なピッチを流し込みます。ピッチは熱を加えて溶かし極力気泡が発生しない温度で流します。冷えて固まったあとは、はみ出した部分を削って作業終了です。



③ マスト・ヤード塗装

マストやステイを塗る作業です。ペンキがデッキ上に付くのを防ぐために、ビニールシートで養生をし、ボースンチェアと呼ばれるイスに乗って上からマストやステイなどを塗っていきます。



(ブルーシートで養生した海王丸)



(ボースンチェア)

ボランティア投稿

ボランティア No.810 西本 尚史さん

総帆展帆に参加して

昨年10月に初めて展帆ボランティアに参加しました。マストに登るのはもちろん、帆船に乗ること自体初めての経験だったので、全てがとても新鮮でした。展帆にあたって、引くロープの名前や、固定されている場所の種類がとても多く、覚えるのが大変ですが、帆を開く為にマストを登った時に見える海の景色や、風の気持ちよさは他では味わえないもので、とても気持ちよかったです。



ボランティア No.804 小島 恵美さん

歩くスキーとかんじき体験

皆さま、お元気でしょうか？前年度からボランティアに参加しています、小島恵美といいます。私は、ボランティアの今井さん主催の1月10日(日)に国立



立山青少年自然の家で行われた歩くスキーやかんじきを履いての雪上ハイキングに参加しました。今回は初めてクロスカントリー(歩くスキー)に挑戦しました。子供の頃からスキーをしていたので、すぐできるようになるかと思いきや、バランスの取り方が違って難しかったですというかかなりこけましたね(笑)普段を履いているスキーにある両側エッジがなくて、靴の裏側に爪みたいなものがついているので登るのは楽でした。午前中は主に平地を登る練習をして午後は

ちょっとしたハイキングをしました。ナチュラルリストによる山々の説明、動物の足跡さがし、3班に分かれて豪華景品をかけた富山クイズは盛り上がりましたよ。豪華景品は日本アルプスの山トランプでした。普段は同じマストの人しか話したことなかったのいろいろな方とできてうれしかったです。また何かイベントがありましたら参加したいです。

以前、大阪で子供たちと磯で生き物を探したり、説明したりしていました。富山に磯遊びできそう海岸がありましたら、是非教えて欲しいです。これからもよろしくをお願いします。

着任の挨拶

4月1日付で総務課2名、海事課2名の方々が新たに海王丸財団で勤務されることになりました。

総務課

事務局次長

蟹谷 康弘 (かにたに やすひろ)

この4月の異動に伴い、富山県から派遣され、海王丸財団に勤務することになりました事務局次長の蟹谷です。3月までは、森づくりや県産材の利用促進、治山や林道整備など森林・林業に関わる事業を実施している森林政策課で勤務していました。「森は海の恋人」と言われており、何かしら深いつながりを感じております。海王丸パークは、年間百万人を超える観光客で賑わう県内有数の観光地であり、北陸新幹線の開業により、今後さらに訪れる方が増えるものと思います。海の貴婦人「帆船海王丸」をはじめとする海王丸パークの魅力を県内外に広く発信し、おもてなしの心でお迎えできるように努めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



総務課 主事

坂中 一 (さかなか はじめ)

平成28年4月より、射水市から海王丸財団に派遣となりました総務課主事の坂中です。着任前日夜に、前任者から施設の鍵を受け取るため、海王丸パークへ来たのですが、その際、ライトアップされた海王丸の姿がとても綺麗で思わず写真を撮っていました。翌日朝、勤務に来た際は天候が晴れており、鳥のさえずりが聞こえる中、立山連峰、新湊大橋をバックにした海王丸の姿がとても優雅で、良い環境に勤務することとなったなと感じました。着任以来、経験をしたことのない業務が多く、戸惑うことも多々ありますが、海王丸を間近で眺めながら、この素晴らしい職場環境のもとで、自分の職務を全うしたいと思っています。この海王丸パークでのイベントを通し、より多くの方がパークに訪れ、海王丸に乗船していただける



よう、微力ながらその環境づくりに尽力していきたいと考えております。これから、よろしく願いいたします。

海事課

海事課 技術員

笠置 雅志（かさぎ まさし）

この度、海王丸財団の一員となりました笠置です。十年ぶり二度目の勤務となります。お久しぶりの方々、初めましての方々、お世話になります。総帆展帆等ボランティアの皆さまが関わるイベントが増えてきますが全力でサポートさせていただきます。慎重に安全に、そして元気に、一つ一つを共に成功させていければと考えております。これから是非ともよろしく願いいたします。



海事課 技術員

市谷 健二（いちたに けんじ）

この度、4月1日付で海王丸財団に配属になりました市谷健二です。本格的な雪や初代海王丸での仕事、一人暮らしなど初めての事ばかりで少々不安もあります。様々な所で皆様にご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、精一杯努力し、一日でも早く皆様のお役に立てるように頑張りますので、どうぞよろしく願いいたします！！



退任の挨拶

出会いがあれば別れもあります。この度、退任される方を紹介します。海王丸財団の為にご尽力くださりありがとうございました。

総務課

（前）事務局次長

上田 正樹（うえだ まさき）

この度、海王丸財団から富山県立山土木事務所に転出いたしました前事務局次長の上田です。平成25年4月から3年間、お世話になりました。本当にありがとうございました。振り返ると、平成25年度は新湊大橋開通効果で年間来場者が初めて100万人を超えました。また、パーク内に素晴らしいモニュメントが3つ出来ました。恋人の聖地モニュメント、世界で最も美しい湾クラブ加盟記念モニュメント、全国豊かな海づくり大会御製碑です。さらに、全国的な素晴らしいイベントが多く開催されました。全国豊かな海づくり大会、タモリカップ、航海訓練所の2隻の練習船が同時



寄港した海王丸W展帆・トリプル公開などです。このような時期に在籍させていただいたことを大変に光栄に思います。特に、海事課（航海訓練所の職員）の皆様とご一緒させていただいたことが新鮮でした。今後とも、帆船海王丸をシンボルに財団の皆様、海王丸ボランティアの皆様がますますご健勝でご活躍されることを祈念いたしております。

（前）総務課 主任

川淵 康平（かわふち こうへい）

このたびの人事異動により、3年間の財団勤務を終え、射水市に戻ることになりました。3年間の財団勤務を振り返ってみれば、「楽しかった、充実した」という言葉が真っ先に浮かびます。この3年間で主務である海王丸パーク・野鳥園の管理やイベント業



務などのほか、第35回全国豊かな海づくり大会、海づくり大会に向けた施設改修、海王丸W展帆・トリプル公開といった財団の歴史に残るビックイベントや仕事に携わることができ、貴重な経験を積むことができました。3年間充実して勤務できたのは海王丸パークにかかわる皆様のおかげです。この場を借りて深く御礼申し上げます。総帆展帆時のボランティアの皆様のご活躍と海王丸の真っ白い美しい姿、新湊大橋・立山連峰・海王丸が並び立つ雄大なロケーション、遊具や芝生広場で思いっきり遊ぶ子供たち、ロマンティックなライトアップ・イルミネーションなど・・・ここではすべて書き表せないほど、海王丸パークは多くの魅力にあふれた、射水市・富山県が誇る宝です。これからも海王丸パークが魅力あふれたスポットであり続けられるように皆様方のお力添えを賜りますよう、よろしく願いいたします。最後になりましたが、皆様方の今後のご健勝とご多幸を祈念し退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

海事課

（前）海事課 技術員

内村 圭太（うちむら けいた）

この度、3月31日付けで海王丸財団を去ることになりました内村圭太です。2年間という短い間でしたが、総帆展帆や他のイベントでボランティアの皆様には大変お世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。この2年間、美しい海王丸をお客様に見ていただくために、船体整備に一生懸命取り組んで参りました。86歳になる船の整備は大変でしたが、ボランティアの皆さんと一緒に作業をしたのが今では良い思い出です。ここで得た知識や技術を次の船で発揮できればと考えております。4月から練習船隊に復帰することになりますが、富



山に寄港することもあるかと思ひます。その際に皆様の元気な顔を見ることができたらなと思っております。最後に、皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、退任の挨拶とさせていただきます。ごきげんよう！

(前) 海事課 技術員

盛 優樹 (もり ゆうき)

この度、2年の任期を終えまして退任する事となりました。振り返るとあつという間でしたが、本当に有意義な時間だったと感じております。それはひとえにボランティアの皆様の暖かさ、富山の気候風土、そして皆の心のマザーシップたる「海王丸」に支えられての事と存じ感謝の気持ちでいっぱいです。この2年間は、海洋教室で子供達と接して学んだ経験、また天皇皇后両陛下のご臨席やタモリカップなどのたくさんのイベントを通じて通常の「船」の仕事以外にも色々な経験ができたことも自分にとって1歩成長できた、かけがえの無い経験でした。末筆ながらボランティアの皆様、そして「海の貴婦人」のますますのご健勝とご多幸を祈りながら退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました！ UW！！



登橋礼について

「海の日」を記念し、**7月18日**(月・祝)に登橋礼(とうしょうれい)を実施します。練習については以下の通り実施します。

練習に参加できなかった方は、当日登橋礼での参加となります。(※配置については練習①に参加された方を優先させていただきます。)チアリーダーを希望される方は、事前にご連絡ください。

- ・5月22日(日)総帆展帆昼休み 練習①
 - ・6月19日(日)総帆展帆昼休み 練習②
 - ・7月 3日(日)13時～ 練習③
- 練習①、②はいずれか1回は参加してください。
配置希望調査も行います。
練習③は本番同様に各配置に取り付き練習を行います。

健康状態の確認

毎年、展帆ボランティアの皆様の健康状態を確認させていただいております。ボランティアの皆様が登しょう作業を安全に行える状態か確認し、乗組員が留意すべき点がないかを見つけ出すのが目的です。その年の総帆展帆初参加時に行います。ご協力よろしくお願い致します。代わりに健康診断書のコピー等を提出いただいても構いません。ご協力よろしくお願い致します。

ボランティア掲示板

「舵輪」では、ボランティア皆様からの投稿記事を随時募集しています。イベント情報、海王丸にまつわる逸話・日常で出会ったちょっとイイ話・連絡事項など、何でも結構です。投稿方法はハガキ・封書・FAX・メール・口頭、何でもOKです。どしどしご投稿下さい！！



今後の行事予定

5月3～6日	ちびっ子天国
5月3日	カッター・セイリング教室
5月4日	展帆体験
5月5日	総帆展帆②・満船飾
5月14～15日	新規養成訓練②
5月22日	総帆展帆③ 登橋礼練習①
6月11～12日	新規養成訓練③
6月19日	総帆展帆④ 登橋礼練習②
7月9～10日	新規養成訓練④
7月16日	展帆体験
7月18日	登橋礼 総帆展帆⑤
7月31日	総帆展帆⑥

※4月17日の総帆展帆①は雨天の為、中止になりました。

あとがき

いよいよ平成28年度がスタートしました。この冬は例年よりも雪が少なかったようですが、皆様いかがお過ごしだったでしょうか。ウィンタースポーツに行かれた方も多くいらっしゃると思います。私は残念ながらスキーにはいけませんでした。総帆展帆に備え、プールに通いトレーニングをしていました。鈍っていた身体もキレが増してきたように思います。展帆でお会いした際にパワーアップした二等航海士を見せることができたかなと思っています(笑)。今年も多くの方に美しい海王丸を見て頂くために、皆で団結し、安全に気をつけて行きましょう(こ)

舵輪 第145号
発行日 2016年4月
E-mail
by-the-wind@
kaiwomaru.jp

公益財団法人 伏木富山港・海王丸財団
〒934-0023 富山県射水市海王町8番地
TEL 0766-82-5181
FAX 0766-82-5197
URL <http://www.kaiwomaru.jp>